

第15-8回いけばなクラブ講座報告 (9月の花)

日時 令和2年9月19日(土) 10時30分～12時30分
場所 文京区アカデミー湯島(視聴覚室)
花材 ススキ(薄)、染ユキヤナギ、ケイトウ、姫ヒマワリ、紫グジャク

東京都でのコロナは一向に収束に向かう様子はありませんが。気を付けながらお稽古に通い、活ける時の集中力は自己免疫力を上げる手段と考えれば華道の道に通じるように思えます。間隔を十分に取りながら参加者5名でゆっくりした時間を過ごしました。今回も、吉田さん宅へ出稽古に行き、生活空間の中でのいけばなを飾り喜んで下さいました。今回の手元資料作成は前年のススキの頃のパワポを使用しました。(文と写真:宮崎 崇知)

秋の7種(あきのななくさ)

1. 萩(ハギ)
2. 尾花(薄)(ススキ)
3. 葛(クズ)
4. 撫子(ナデシコ)
5. 女郎花(オミナエシ)
6. 藤袴(フジバカマ)
7. 朝顔の花(キキョウ?)

芹澤(兵頭)さん



大和田(堀)さん



デモンストレーション(宮崎)



矢口さん



松崎さん



今回は染ユキヤナギが配達された荷に入っていませんでした。そこで講師は花屋さんに届けて頂く交渉をして、生徒さんには染ユキヤナギの場所を頭に置いて行けていくように指導しました。作品を作るに当って、如何なるハプニングをも乗り越えることと、今回は、向き合う時間になりました。